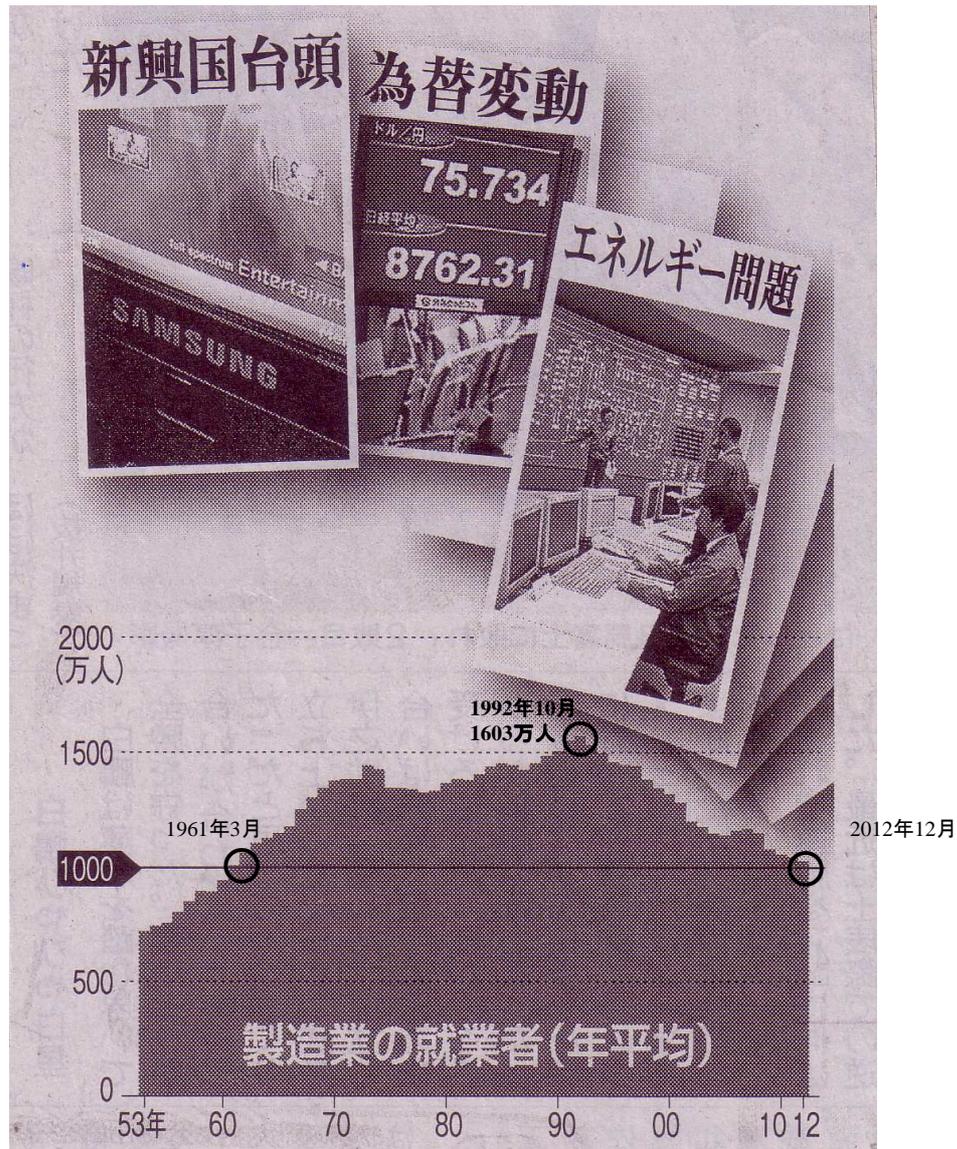


1000万人を割り込んだ製造就業者

朝日新聞
2013年7月17日



製造業の就業者

総務省の労働力調査によると、国内で製造業にかかわって収入を得ている就業者は1961年3月に1千万人を初めて超え、92年10月に1603万人とピークに達した。バブル崩壊後の消費低迷、円高に伴う海外への工場移転などで減少に転じ、昨年12月には一時、およそ半世紀ぶりに1千万人を割り込んだ。就業者数には非正社員や自営業者も含まれる。

経済成長のエンジンだった製造業は工場閉鎖が相次ぎ、就業者は1千万人程度に激減した。アベノミクスは金融緩和で設備投資を点火させ、雇用安定、賃金上昇を狙うが、製造業にその力はあるか。消費意欲を引き出す、ものづくりとは。